



外ではこんな遊びを楽しんでいま～す!!



☆ドッジボール

園庭中央では、日々様々な遊びが繰り広げられ、特にその中でも、ほぼ毎日のように続いているのがドッジボールです。1学期は一部の年長の男の子中心だったのが、2学期後半から、年中さんや女の子も大勢参加するようになりました。何回も楽しむうちにボールの投げ方が上手になったり、逃げ回るだけでなくボールを受けることもできるようになってきました。じゃんけんでチーム決めをすると、「ぼく負けた。」「あつ、ボクも!」「一緒じゃん!!」とスクラムを組んで喜び合い、その後、向かい合って並びそして「今からドッジボールを始めます。よろしくお願いします。」と元気の良い挨拶から始まります。

普通のドッジボールだけでなく、子ども達の提案から始まり、ルールも子ども達と考えた“王様ドッジボール”も楽しんでいます。それぞれのチームで王様を一人決め、外野は変わらず、内野でボールに当たったらその場に座り、同じチームの内野がボールを受けたら復活できるというルールです。回数を重ねていくことで、勝ち負けだけが楽しいのではなく、誰が王様だったのか当てるのも遊びの楽しさの一つとなっています。

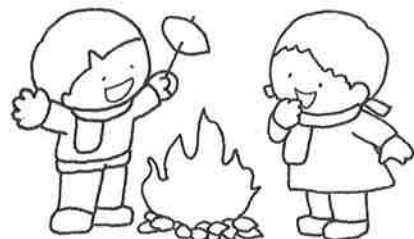
また最近では、ボール2個を使ったドッジボールもやっています。ボールがあっちからこっちからと飛んでくるため、ドキドキ…。スリル満点です。大人も楽しめるほど子ども達が上手なんです!

一緒にあそぼうの日には、是非様々なドッジボールに参加して気持ちのよい汗を流してもらえたらと思います。手加減せずをお願いします!(笑)

☆かまど遊び

寒い日にはやっぱりかまど遊び。3学期に入りかまどを再び子ども達と設置したところ、「何焼くの～?」「焼き芋がいいなあ～」「りんごとかは?」「手伝う!」とかまど遊びを楽しみにしている子がたくさんいました。「焼けたら呼んでね」と火番はしないけど食べることには参加という子も(笑)かまど遊び好きな常連さんは、家から枝を持ってきてくれたり、火ばさみの扱い方も上手で、うちわも必要な時にしか使わなく、かまどの掬をよく分かっています。前回バナナを皮ごと焼いてみました。生のものより甘くなりトロトロで好評でした!今度はまるごとりんご焼き?!それとも焼き芋??を考えています。(AKI)

②



ケーキ屋さん

南側で遊んでいるケーキ屋さん。

型抜きでいろいろな形を作り、おだんごも使ったりして、ケーキを作っていきます。秋には、黄・赤の落ち葉を飾りにして、出来上がり。自然の恵みに感謝です。

さて、この型抜き作り。年中・長さんの中にも“初めて”きれいにできた、という子もいて、意外ときれいに（崩れないように）作るのは、難しかったりします。作っていくうちに上手に作れるようになって、友達や保育者に褒められることでニコッと笑顔になり、自信を持つことに繋がります。それをきっかけに、置き場所が足りなくなるくらい、どんどん作っていくようになる、という姿もありました。友達の良いところ・頑張り認め合う（言葉で伝え合う）のは、素敵なことですよね。

形作り・仕上げの飾りつけ、と役割を分担していることも。それぞれ得意な力を発揮して遊んでいます。

ぜひ、子どもたちと一緒に、ケーキを作ったり、「いらっしやいませー!!」と呼び込みをして、楽しみましょう!!



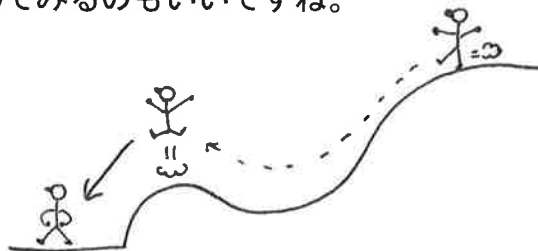
“鳥”になる!!

2017年酉年・・・だからかどうかはわかりませんが、三学期が始まり、“鳥になる!”と言って、遊んでいる年長の男の子たちの姿が。

山の斜面+ちょっと山になっているところを利用して、上着の裾をマントのように広げて持ち、駆け下りてジャンプをしています。

遊んでいる中で、「合格した」「O級だって」という声が。どうやら、認定試験?!らしきものがあるようです(笑)

まだまだ始まったばかりで、この先どんな風に発展していくか、楽しみです。いっしょに遊ぼうの日まで、続いていたら、童心に返って、「空を飛んでみたい!」そんな気持ちで遊んでみるのもいいですね。



(Kumi)



ターザンロープ



夏休みに幼稚園の遊具のロープの補修をしました。その時に新しく設置したターザンロープ！2学期から子どもたちの遊びの中に登場しました！！

初めてチャレンジする時には「こわくない？」「上手にのれない～」「え！むずかしそう～」なんて言っていた子どもたちですが、3学期になった今では“ぴょん”と上手にジャンプして縄につかまり遊んでいます。

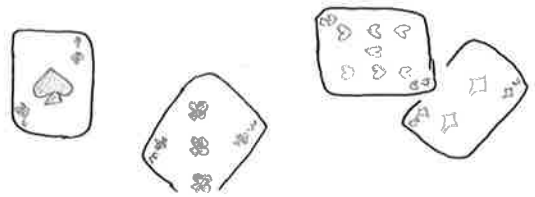
安全のため、ターザンロープを行う時には保育者がついていきます。“ターザンロープをする時は先生と一緒に行く！”ということ子どもたちも理解しており「ターザンロープやりたい～」と声を掛けに来てくれます。声を掛けに来てくれる時は2人くらいなのですが、いざターザンロープを出すと、あっという間に順番待ちの列ができます。自分の順番がくるのを、ロープにぶら下がっている子の様子をワクワクした目で見ながら待っている子どもたちです。順番待ちをしている中で「〇〇ちゃん(くん)、すごい！」と、やっている子に声を掛けていたり、「あんまり前に出ると(今やっている子と)ぶつかっちゃうよ」なんてお互いに声を掛け合っていたりしている姿もあります。

順番がくると、ニコニコ笑顔でロープにつかまって、気持ち良さそうに風になびかれながら楽しく遊んでいます。「あ～～～あぁ～～～！！！」と、ターザンのように声を出している子もいますよ😊年少さんも怖がることなくチャレンジ、年中さん・年長さんはロープをもってギリギリまで後ろに下がってからやるので勢いがいいです。どの子も途中で手を離してしまうことなく、しっかりとロープを握っている力がついています。年齢問わず、どの子も楽しそうに、気持ちよさそうにターザンロープをしているので、私もちょっとやってみました。思ったよりもスリリングで、近くにいる子に「ターザンロープ、ちょっとだけ怖いね！」なんて話しかけてしまいました(笑)もちろん「全然怖くないよ！」との返答でした！

これからも、事故や怪我がないよう安全に気を付けながら、ターザンロープを楽しんでいきたいと思えます。



カードゲームを楽しんでいます☆



さむ～い朝、体操までの間にひと遊び。はとぐみでは床にマットを敷いて、カードゲームを楽しんでいます。

「P i p p o」というカードゲームを知っていますか？



ルールはとっても簡単！5色5種の動物カードの中から課題カードに描かれていない動物を探すだけ！それでも課題カードにない色といない動物、二つのことを同時に探すことは子どもたちにとって丁度いい難しさなのです。

「ハイ!!」「あった!」「きいろのネコ!」「あれ…むらさきとまちがえた。」探しているカードが自分の近くにあったり、一番遠くだったり、違う色を探していたり…真剣な顔で勝負しています。何度か遊んでいるうちに、読み手と取り手に分かれて“かるた風”にして遊ぶ幼稚園ルールも誕生しました！

トランプゲームでは神経衰弱やぶたのしっぽ、ババ抜きなど年少さんも交じって楽しんでいます。

ある日のババ抜きでは…「せんせい、これずっとおわらん」「さっきといっしょの(カード)だ!」「ババとってもらえない…」なかなかペアにならず、同じカードばかりが移動。最後の二人になってからも何度もババを引き合い、「やっとおわたあ」「きょうはながかったね」と勝ち負けよりも終わったことに達成感すら感じました。

神経衰弱は子どもとの真剣勝負！正に神経“衰弱”です((`ω´))。「どうして覚えてるの?」「お願い、移動させないで!」とわたし。周りで見ている子どもたちから「せんせい、さっきもおなじのめくってたよ」と言われてしまうことも…(トホホ)。

あきこ。

<コマ回し>

冬休みの間、お正月遊びをいろいろ楽しんでいたご家庭もあるのではないのでしょうか？幼稚園でも3学期の始まりと共に、日本の伝統的なお正月遊びを出しています。カルタなどのカードゲームやボードゲーム、凧あげなど…

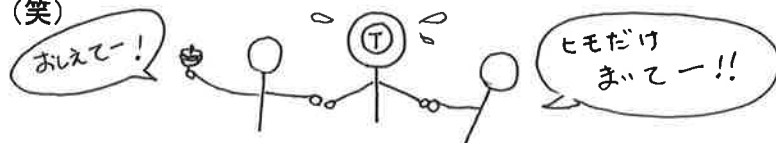


中でも今日まで子ども達が夢中になって続けている遊びが『コマ回し』です！！どのくらい夢中になっているかということ、登園し身支度が終わって一番にコマ回しをする。朝回して、お昼ご飯食べて回して、次の日も回して、、、と毎日繰り返し遊ぶほどハマっています。

始めは経験者がコマを回し、上手に回せた子と思うように回らなかった子に分かれました。その後毎日のように回すようになったのは後者の方です。

「絶対回してみせる！」という強い意志の元、挑戦し続けていました。今度はその様子を見て、初めての子達が「コマ回しやってみたい！」と挑戦するように。

コマ回しは紐を巻き付けるコツを掴むまでが大変難しく、保育者も手助けで何回も呼ばれました（笑）



毎日の練習の成果が出て、百発百中くらい上手に回すことが出来るようになった子もいます。「いっしょにあそぼうのひ」に是非おうちの方も『コマ回し』挑戦してみてください！！



<恋ダンス>

ゆり組のデッキでは、1学期から軽音部の活動が行われてきました。3学期子ども達から「先生！軽音部の新しい曲が決まったよ！！『恋ダンス』にしたから！！！」との報告を受け（笑）早速、星野源さんの「恋」の音源を準備。CDデッキから流れる音楽に軽音部のメンバーは、ウキウキとバンド演奏の準備を始めました。

いざ始めると、みんな耳にしたことあるこの曲に大きな反応を示し、気がつくとデッキはダンスステージに変わっていました！！！

保育者としてはバンド演奏とダンスの共存を望んでいるのですが、軽音部メンバーは集まる人の多さに緊張！しばらく休止に…

今はダンスが主ですが、軽音部の動向も見守りたいです！
 そして、キレッキレの『恋ダンス』はいつも沢山の観客を集めています。思
 わず足を止めて一緒に踊りたくなる恋ダンスは必見です！！

イスの上に立って見るのは
 禁止♡だそうです！

たのびのさん♡

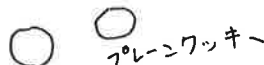


子どもが作った
 見取り紙 →



<クッキー屋さん>

始まりは素材で出ていた、ビスケットの空き缶から。折り紙でビスケットを
 たくさん作り、その空き缶に詰めてお店やさんを始めました。お店の場所は
 大積み木だったり、歩き売りだったり、気ままに遊んでいました。



おままごとコーナーに場所を決めてから、店を段ボールで作りたいと設計図
 を描き始めました。「郵便ポストが欲しいよね〜。」「ドアチャイムも作ろ
 う！！」と相談し協力して作り上げ、中々素敵なお店になりました！！
 …けれども中々お客さんが集まりません。

「チラシを作って配ろう！」と集客に励みましたがあまり成果が出ず、「先
 生！クッキーやさんはお客が集まらないから『恋ダンス』の方に行くって。こ
 っちはバイトでいいんだって言ってたよ！」

なんと、お客さんだけでなく従業員のやる気の危機までも！！？

「もっとクッキーの種類を増やしてみたら？」と保育者の提案で紙粘土を使
 ったクッキーを作ることにしました。粘土遊びが大好きな年少さん達も仲間入
 りし、クッキーやさんをやる子どもの数が増えました。その結果、美味しそ
 うな沢山のクッキーが出来、新しいお客さんも来てくれるようになりました！！

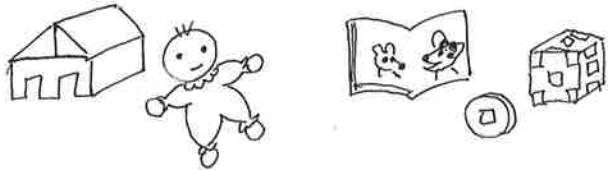


クッキーの中になぞか
 1本のオタラシ団子。
 500円(税)

クッキーやさんはテイクアウトもイートインも可能です。いっしょにあそぼ
 うのひは、是非お金を作って遊びに来てください♪

(まお♡)

小部屋では . . .



ひつじ組の奥には、入口も小さく、天井も少し低いつくりのほし組やぶどう組とは少し違う小部屋があります。そこは、子どもたち一人ひとりにとっての溜まり場であったり、静かに落ち着く場であったり、その時々で違った雰囲気醸し出す空間になっています。ですから「今日はどんな風にこの場所を使うのかな . . .」と子ども達の様子を見るのを毎日楽しみにしています。

ある日は…ブロックを入れているワゴンを持ち込んでブロックまみれの空間に。そして作った物は出窓に飾って、いつでも続きができる状況になっています。まるでバーカウンターのようにになっている出窓に飾られているブロックはエントランス北側から覗いて貰えれば、いつでも見られますよ！

ある日は…やけに静か！ 図書館のように本を読み込んでいる子ども達があります。また一冊の本を囲んで何やら小声で話しています。その日、片付けの時間には、今日のおすすめ絵本として一冊の本が選ばれ、棚に飾られていました。絵本貸し出しの日にピックアップされた絵本が飾られていたことを覚えていたのでしょうか。

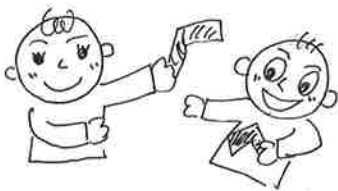
ある日は…ソフトブロックやままごとの物を運び込んでいます。運ぶだけで片付けにならないかなあ～と思う程、ままごとコーナーと小部屋を行き来しています。しばらくして「できたあ！」「これでいいね」と聞こえてきました。小部屋の中に小部屋を作っていたことが分かり、“おもしろいことを考える”と子ども達の発想に脱帽しました。その日はそこでひとしきりままごと遊びを楽しんでいました。

ある日は…積み木や小さなフィギュアを使って、空想の世界に入り込み、なりきって遊んでいます。一人ひとりをもつ世界観を共有している姿を見ることができ、友人関係が深まり互いに思いを表すことのできる様子に成長を感じます。

ある日は…相談ごとをしています。その後「外行ってきまーす」「帽子とってくる」「外で待ち合わせね」「ドッジしてくるね」と出て行きました。その日は何をして遊ぶかの相談場所になっていたようです。

この空間には年長さん・年中さん・年少さんが、その日の遊びによって入り込み、小学生の高学年の子たちでもいるのかな？と思うほど、家での自分の部屋のように遊んでいます。ここのところ片付け時間に遊びが終えられず「かたづけしてよ～」と繰り返し声をかけることも多くなり、お母さんの気持ちも分かるなあ . . . と。

さて、明日はどんな空間になるのかな？



(まさえ )

ソフトブロック

おままごと

運動会前に発行したこどもニュースでもお伝えしたソフトブロック。今も変わらず大人気です。

登園してきて、お昼ごはんを食べ終わって……と、遊び始めやお友達が来る前の僅かな時間にソフトブロックに向かう子どももいるほどです。

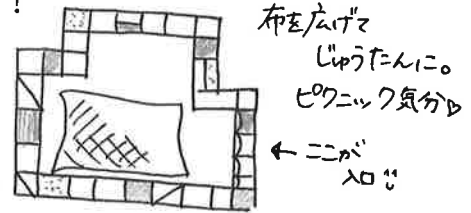
そんな最近のソフトブロックの遊び方……、

それは、^おおままごととの^合合体⁺です！

どのお部屋にもおままごとコーナーがあるのですが、そのおままごとコーナーからお皿やコップ、フライパンやお弁当箱、トマトやコルクなどをせっせと運び出していく子どもたち。

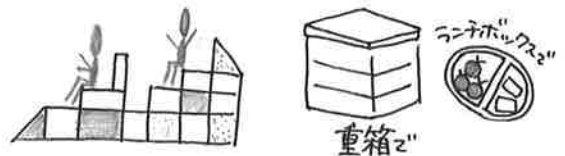
持って行った先には……、ソフトブロックが！

囲うようにして並べ、家に見立てて
そこで引っ越しパーティーが始まったり、



カウンターのようにして、
そこでお料理やお店屋さんが始まったり、

車のような座席を作り、
お弁当を持ってドライブに出かけたり、



ちゃんとしたおままごとコーナーがあるのに、どうしてわざわざ……？と思われるかもしれませんが、変幻自在のソフトブロックは子どもたちにとって魅力的なもの。遊ぶ人数が増えたから、とお家を増築したり車の座席を増やしたりと思いのままです。

また、最近では本来のおままごとコーナーで遊んでいる別の子どもたちと“お隣さん”になって、「パーティーやるから来てねー！」といったお呼ばれや「これ、作りすぎちゃって……」とお裾分けを楽しんでいる姿もあります。

どんどんと関わりが広がっていくソフトブロックとおままごと、これからも目が離せません！！

(ゆか.)